

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
109	B-07013329	女性	9歳	90 mg	レバミピド ドンペリドン	異常行動	回復	キットを実施したが陰性、臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。 朝夜、本剤服用し、就寝後、急に目を開いて立ち上がる。「ここにはいられない、外に行かなきゃ」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。事象発現1~2時間後、また起き上がり「学校に行かなきゃ」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。更に1時間後、再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。体温は38.5°C。翌朝、母親の判断で本剤中止。異常行動回復。	異常-92	
110	B-07013330	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。深夜、突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の柵を乗り越えて外に走り出した。 その後、異常行動は回復。本人は全く覚えていない。	異常-93	
111	B-07013375	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメメルファン チアミン・ニコチン酸アミド配合剤	記憶障害 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型診断、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤1回目服用数時間後、自宅庭を徘徊しているのを家族が見つかる。夜間、奇声を発する。本剤は1回のみ服用し、その後は中止。服用2日目、回復。前日夕方よりの行動について記憶がなかったとのこと。	異常-94	
112	B-07013396	女性	9歳	108 mg	メクロブラミド クラリスロマイシン ペミロラストカリウム カルボシステイン 開始液(1) リン酸ジメメルファン メクロブラミド アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用約2時間後、目つきが変わって、しきりに外に出ようとしたり、何か訳のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。服用2日目、異常行動回復。服用5日目、残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	異常-95	
113	B-07015225	男性	9歳	150 mg		睡眠時驚愕	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、早朝、起床時、突然意味不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上り、悪夢に怯えるような状態が30分~1時間持続。この時発汗や顔面紅潮を伴っていた。この時の事を本人は記憶していない。本剤中止。 服用中止4日後、夕方から眠っていたところ、衝動的に覚醒、まとまりない言辞あり。服用中止7日後、8日後、12日後、13日後、15日後、16日後、18日後、27日後に同上のエピソードが短時間あり。		2007/10/1以降 新規報告
114	B-07023327	女性	9歳	78 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザAと判定。リン酸オセルタミビル処方。帰宅後服用し、2階にて就寝していたが、母親が気がついたときには1階をうろろろしていた。母親がどうしてうろろろしているのか子供に尋ねると我に返ったようで、1階に降りた記憶が無いとの事。寝ているときも寝言が多く天井に向かい両手を盛んに動かしていた。異常行動発現。服用4日目、異常行動回復。服用5日目、本剤終了。		2007/10/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
115	B-07023858	女性	9歳	138 mg	ヒベンズ酸チベピジン dl-塩酸メチルエフェドリン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。発熱40°C。同日夜、就寝中急に起き上がり、部屋の中をぐるぐる回ったり、意味不明なことをぶつぶつ言ったりしていた。発熱40°C。事象発現5分後、症状回復。服用2日目、朝本剤服用。発熱39°C。夕方、再度徘徊、一人言などあり。すぐに症状回復。前日と同様であったが、持続が短かった。その後、本剤服用するもはおかしな行動は見られない。		2007/10/1以降 新規報告
116	B-07026154	男性	9歳	57 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間後、突然異様な目つきで階段を駆け上がる。親が取り押さえて眠りについた。本剤服用中止。その後異常行動回復。		2007/10/1以降 新規報告
117	B-04008522	男性	10歳	75mg	ジプロフィリン・メキシフェナミン配 合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識変容 状態	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは認められたとの由。	異常-96	
118	B-05023468	男性	10歳	105mg		異常行動	軽快	発熱(38.7°C)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。入院後は異常言動出現なし。翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。	異常-97	
119	B-05024270	女性	10歳	114mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	情動障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。初回投与開始から2~3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1~2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロメトルファン及び塩酸アンブロキシソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。	異常-98	
120	B-05024606	男性	10歳	108 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。	異常-99	
121	B-06010806	男性	10歳	114mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られなかった。	異常-100	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
122	B-07000166	女性	10歳	75 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝本剤服用2時間後、体が熱い症状訴え、目を放した隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていたのに家族が気づき制止。本人は覚えていないとの事。その後、寝かしつけた。服用から4時間後、睡眠より覚醒。意識清明。本剤中止。同日、異常行動回復。	異常-101	
123	B-07002856	男性	10歳	不明		異常行動	不明	リン酸オセルタミビル服用2時間後、寝ていたが、笑って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなったり、走りたくなったり」と本人が説明。	異常-102	
124	B-07012021	男性	10歳	100 mg		譫妄 意識変容 状態	回復 回復	リン酸オセルタミビルを昼、夕に服用。夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。両親の顔が分からなかった。翌日、意識清明となった。	異常-103	
125	B-07012054	男性	10歳	60 mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン メキタジン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、保護者が不在であったが、最後に見たときは睡眠中。ポーッと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思ってマンション7階のベランダから下をのぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、保護。その1時間後、来院。来院時、体温 38.4℃、意識清明。夜、睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「星が見たい。弟が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきた。	異常-104	
126	B-07013136	男性	10歳	114 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。昼・夜に服用。翌早朝、普段している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、セコムが反応したため外に飛び出すことはなかった。	異常-105	
127	B-07013247	男性	10歳	75 mg	プレドニゾン 塩酸エブラジン セラペプターゼ 塩酸アンプロキソール クラリスロマイシン	異常行動	回復	入院にてリン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、朝、服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け込み失禁した（この時点では解熱していた）。本剤中止。その後は正常となり退院。	異常-106	
128	B-07013255	男性	10歳	120 mg	桂麻各半湯 ドンペリドン 黄耆建中湯	異常行動	回復	高熱のため受診。インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕、本剤服用後、一度睡眠に入るが、突然立ち上がり家の中を飛び跳ねる。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、家人二人で外に出るのを止める。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きをとり戻し、再び睡眠。服用2日目、熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。	異常-107	
129	B-07013386	女性	10歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザで来院、リン酸オセルタミビルを処方され、帰宅し服用。夕方、突然靴下を履き暴れて外に飛び出した。母親が押え付け、何事にもならなかった。同日、異常行動は回復。	異常-108	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
130	B-07021901	女性	10歳	150 mg		異常行動	回復	服用2日目、二段ベッドの上の段に寝ていたところ、急に起きてきてベランダに走ってきて、母に「リカちゃんがかげから落ちたんじゃないか、どうなったのか」と聞いた「リカちゃんは大丈夫だから」と話して納得させたが、その時のことを本人が覚えていない。夕食時、ベッドで寝ていた本人に食事を運んでいったところ、起きていたが訳の分からないまっぴりしないことを言う。		2007/10/1以降 新規報告
131	B-07027206	男性	10歳	120 mg/kg	フマル酸クレマスチン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン クレゾールスルホン酸カリウム カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。自宅にて1回目服用後、就寝。服用約3時間後、急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走って行き、外へ走り出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした（大きな岩が自分に向かって転がってくる幻覚があったとのこと）。事象発現約30分後、家族が静止し、その後就寝。1回目服用5時間30分後、2回目服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態があったが、朝には正常であった。服用2日目、本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱あるも、異常行動はなし。		2007/10/1以降 新規報告
132	B-05023595	男性	11歳	60mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭発赤にて、確定診断後本剤、カロナール、ナウゼリン処方。本剤投与後、幻覚症状（怖がって逃げる）、異常行動（異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く）発現。1時間後、改善	異常-109	
133	B-05024102	男性	11歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2℃)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方に服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。	異常-110	
134	B-06024935	男性	11歳	72mg		異常行動	回復	妹に処方されたリン酸オセルタミビルを服用。同日夜、突然の発熱(40℃台)あり。本剤服用約10時間後の翌朝、突然起きて異常行動(徘徊、大声で叫ぶ)発現。訳の分からないことを叫び走り出したので、押さえ込む。しばらくした後、意識が戻る。インフルエンザA型と診断された。	異常-111	
135	B-06025190	男性	11歳	75 mg		異常行動 幻聴	回復 回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。翌日の午後、異常行動、幻聴発音し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。夜、服用中止。家族がつきそう。2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。幻覚、異常行動、幻聴回復	異常-112	
136	B-06026130	男性	11歳	50 mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。	異常-113	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
137	B-06028540	男性	11歳	150mg	メキタジン 塩酸エブラジノン カルボシステイン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。	異常-114	
138	B-07000058	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン ラクトミン	異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。	異常-115	
139	B-07000111	男性	11歳	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温：38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。	異常-116	
140	B-07000121	女性	11歳	150 mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン 臭化水素酸デキストロメトルファン	異常行動	回復	早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。	異常-117	
141	B-07000131	女性	11歳	65 mg	カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン 臭化水素酸フェネテロール 乳酸カルシウム ビフィズス菌製剤(4)	異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中でガードレールを越えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。	異常-118	
142	B-07000163	男性	11歳	100 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸レセルピリン酸ジメチルアミノエチル カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	譫妄	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。	異常-119	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
143	B-07000260	女性	11歳	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた（過去には夜に一人で外をふらつく）。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり顔に裂傷を負う。	異常-120	
144	B-07000274	男性	11歳	100 mg	臭化水素酸デキストロメトルフアン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39°Cの発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルフアン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る（約5分間）。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。	異常-121	
145	B-07003018	男性	11歳	52.5mg	トラネキサム酸 塩酸ソプロテロール フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断された。夕方、リン酸オセルタミビル服用。本剤服用1時間後、突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「テスト」と言って階段を登って、2階に上がろうとした。制止して様子を見ると、ニヤリと笑った。その後も家の中をふらふらとした。服用は1回で中止し、再び入眠。翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	異常-122	2007/10/1以降追加報告
146	B-07003581	男性	11歳	64.005mg	モンテルカストナトリウム 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシソール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール リン酸ジメモルファン フマル酸クレマスチン プロピオン酸ベクロメタゾン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くと言出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。	異常-123	
147	B-07003786	男性	11歳	150 mg	塩酸セファペンピボキシル リン酸ジメモルファン アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。2階で臥床していたが、大声を出し、階段を駆け下りてきた。その後、服用を続けていたが異常なし。	異常-124	
148	B-07011102	男性	11歳	不明		異常行動	不明	39°Cの熱が続き、キットでは陰性だったが、医師の経験上の判断でインフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、本剤服用後、2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを家族に制止された。その時顔は赤らんでいて、何も覚えてないとのこと。	異常-125	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
149	B-07013215	女性	11歳	144mg	塩酸セファペンピボキシル 塩酸トリプロリジン 椋皮エキス セネガ アセトアミノフェン	譫妄	軽快	体温は37.8℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、就寝1時間後（本剤服用7時間後）、突然起き階段を「恐い怖い」と言いながら走っておりてきた。15分～20分振っていた。服用2日目、朝、せん妄軽快。その後、服用3日目まで、本剤服用。	異常-126	
150	B-07013227	男性	11歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) メキタジン カルボシステイン	激越 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。1回目服用後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約6時間後に2回目服用。その後就寝。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられる。2、3分にて本人が気づき状況確認すると、とても恐い夢をみたとのことだった。	異常-127	
151	B-07013315	男性	11歳	80 mg	カルボシステイン フマル酸ケトチフェン 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用約1時間後、急に走り出して外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫くボーとしていた。その後、異常行動回復。	異常-128	
152	B-07013316	男性	11歳	67.5mg		異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。服用2日目、午後、昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、我に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。事象発現30分後、異常行動回復。以後は症状みられず。	異常-129	
153	B-07013379	男性	11歳	67.5mg	ヒベンズ酸チペジン フマル酸クレマスチン 塩酸セファペンピボキシル	恐怖 うつ病 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態発現。服用2時間30分後、就寝後、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。その後、就寝。服用5時間30分後、再び就寝中に数分～5分内の恐怖の発現が有り。服用7時間30分後、就寝中に再び数分の興奮有り。数分～5分で改善。服用2日目、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなくめざめる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。	異常-130	
154	B-07013383	男性	11歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、急に家を飛び出し、家の周囲を1周し、帰って来て笑っていた。その後、異常行動は回復、本剤中止を指示して再発なし。	異常-131	
155	B-07013387	女性	11歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤中止。服用3日目、異常行動軽快。	異常-132	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）  
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
156	B-07018037	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チペジン 塩酸アンプロキシール 塩化リゾチーム ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1日目、本剤服用1時間後、突然飛び起き、目を見開いて走り出す。30分程度で症状はおさまる。異常行動を覚えていない。		2007/10/1以降 新規報告
157	B-07018716	男性	11歳	75 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとのことで、家族が当院を受診し、入院経過観察することとなった。翌日、異常行動は回復。		2007/10/1以降 新規報告
158	B02-12377 (B07002859)	男性	12歳	150mg		低体温	回復	インフルエンザキット陽性にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、幻視、低体温、暴れたため、家族がおさえた。体温は服用後、34-35°Cになった。再度服用したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び家族におさえられて治まった。その後本剤は中止とした。服用開始2日目、3日目と低体温が続くが、服用開始4日目に低体温回復。	異常-133	
159	B-03011945	男性	12歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	診断キット(-)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39°Cの熱と、意味不明の発音、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発音が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。	異常-134	
160	B-04009035	男性	12歳	150mg	セフジトレンピボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフジトレンピボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。	異常-135	
161	B-05023672	男性	12歳	60mg	臭化水素酸デキストロメトラン メキタジン ラクタミン	異常行動	回復	発熱(39°C)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車で走り出す。奇声を上げる)。15分後帰宅するが、意識がぼんやりとしており、発音もはっきりせず、朝まで経過。翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。	異常-136	
162	B-05023790	男性	12歳	66 mg		異常行動 意識変容 状態 機骨折 下肢骨折	回復 回復 不明 不明	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日とも夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。	異常-137	